

8-4-16 土質・地質専門委員会

1. 専門委員会の委員及び活動体制

平成 28 年度に引き続き、16 名のメンバーで活動を行った。

年間計画に基づく通常の活動は、3 班のワーキンググループ（地盤評価 WG、調査結果品質確保 WG、照査特別 WG 対応）で企画・実施準備を担当し、実務・実行にあたっては専門委員会全体で対応する方針で運営した。

その他、技術委員会他から指示・要請を受けた課題に対しては、その都度全委員にて対応した。また、地盤工学会、道路協会など外部組織からの要請課題についても対応した。

2. 主な活動の記録

(1) 定例専門委員会等の開催

委員全員が参加する専門委員会は、原則各月に 1 回、計 9 回開催した（11、2、3 月は休止）。ミーティング以外はメール等を活用し、メンバーの負担軽減に努めた。

(2) 活動の概要

平成 29 年度活動の概要は下表 a、b に示すとおりである。

3. 次年度の活動について

基本的に、今年度の活動を踏襲・継続する。「地盤技術講演会」と「RCCM 自主学習教材」テキストの修正、設計技術者向け調査結果チェックリストの作成等を中心とした活動を行う。

（土質・地質専門委員会委員長 斉藤 泰久）

a. 活動概要(1) 年間計画活動

主な活動	概要
地盤評価 WG	「第 23 回設計技術者のための地盤技術講演会」及びテキスト修正 ・東京会場：平成 29 年 10 月 27 日（金） 参加者 97 人（44 社） ・福岡会場：平成 29 年 11 月 2 日（木） 参加者 86 人（46 社） 平成 28 年度アンケートを反映し、午前を基礎編、午後を応用編の 5 時間構成の終日開催とした。アンケートでは、講演内容や講演時間に好評の意見を多数頂くとともに講演内容や講演方法についての要望もあり、引き続き、来年度開催へ反映し内容の充実を図る。
調査結果品質確保 WG	・土質・地質調査に係るチェックリスト作成 品質セミナーにて、チェックリストイメージを提示したが、それを基にチェックリスト作成に向けた議論を継続的に実施した。 ・RCCM 自主教材修正 「地質部門」「土質及び基礎部門」のテキスト・問題の一部改訂を行った。
照査特別 WG 担当	エラー事例収集とセミナーテキスト修正、セミナー講演会対応を行った。また、東京都「技術情報活用研修」に講師を 1 名派遣した

b. 活動概要(2) 対外的な活動

活動内容	概要
公益社団法人地盤工学会	「地盤品質判定士協議会」に委員 3 名を派遣
国立研究開発法人土木研究所	「高品質ボーリングコア評価に関する WG」へ委員 1 名を派遣（終了）
公益社団法人日本道路協会	「落石対策検討 WG」へ委員 1 名を派遣（終了）
土木新技術ショーケース 2017	コメンテーターとして委員 1 名を派遣（終了）
国土交通省	第 3 回地下空間の利活用に関する安全技術の確立に関する小委員会ヒアリング 2 名（新規 終了）